

# 札幌市ICT活用戦略検討有識者会議 (第2回)

2024.09.12



01

# (仮称) 第2次札幌市ICT活用戦略の策定スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有識者会議	★ 8/5 第1回	★ 9/12 第2回	★ 10/11 第3回					
市民アンケート	8/22~9/6(web) 8/21~10/10(スマホ教室:高齢者向け)							
庁内会議等	ICT活用施策等とりまとめ		戦略(素案)の庁内議論					
市議会 (調査特別委員会)					議会審議			
パブコメ						パブリックコメント		
策定			★ 戦略(素案)策定			★ 戦略(パブコメ案)策定		★ 戦略策定

- 第1回
- ①座長の選任
  - ②(仮称)第2次札幌市ICT活用戦略の策定スケジュール
  - ③(仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について
    - ・ICTやデータ活用に関するこれまでの取組と課題
    - ・ICTを取り巻く状況の変化
    - ・市民アンケートについて

- 第2回
- ①市民アンケートの結果(中間報告)
  - ②(仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について
    - ・基本戦略
      - ✓基本理念と基本原則
      - ✓踏まえるべき視点
      - ✓数値目標
    - ✓推進体制
    - ✓ICT活用施策の体系

**本日の論点**

- 第3回
- ①市民アンケートの結果
  - ②(仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について
    - ・ICT活用施策
      - ✓庁内のICT施策を取りまとめ作成

## 基本戦略の体系

官民がビジョンを共有するための**基本理念**とICT活用の**基本原則**を定めます。また、ICTを取り巻く状況の変化や技術の進化を踏まえながら、基本理念の実現に向け、基本原則に沿った取組を推進するために、行政、民間のそれぞれが、ICT活用を考えるに当たって**踏まえるべき5つの視点**を定め、これらに沿ってICTの社会実装を進めることで**市民が利便性を実感できる「ひと」を中心としたデジタル変革**を進めます。

## 基本理念

誰もが最適なサービスが受けられることにより、  
ICTの利便性が実感できる「ひと」中心のデジタル変革

## ICT活用の基本原則

基本原則1 利用者（市民）目線のICT活用

基本原則2 持続可能かつ最適なサービスの提供

BPR (Business Process Re-engineering)

デジタルファースト

ワンスオンリー

コネクテッド  
ワンストップ

基本原則3 社会課題の解決と新たな価値の創造

## 踏まえるべき視点

行政／地域・産業

- ① データ利活用の推進
- ② デジタル人材の確保・育成

行政

- ③ 業務改革の推進
- ④ クラウド第一原則の推進
- ⑤ オンライン化の推進

### ICT活用で踏まえる視点

#### 視点①-1 データ利活用の推進

行政

#### 視点

データを活用しながら、取組の検討、検証、改善を行うなど、付加価値の向上を目指すとともに、分野・組織を超えた効率化や価値の提供を進めることが重要です。

#### 取組の方向性

行政の縦割り、紙中心の業務から脱却するため、自治体情報システムの標準化等によるデータ連携の推進や公共サービスメッシュの活用、デジタルワークスタイルを推進するための環境整備を行うなど、行政のデジタルシフトを進めるとともに、職員のデータ分析に関する知識の向上やBIツール等の活用促進に取り組みます。

### 行政のデジタル変革

市民視点のサービス提供

デジタルシフトの推進

安全安心の向上

### ICT活用で踏まえる視点

#### 視点①-2 データ利活用の推進

地域・産業

#### 視点

データを活用しながら、取組の検討、検証、改善を行うなど、付加価値の向上を目指すとともに、分野・組織を超えた効率化や価値の提供を進めることが重要です。

#### 取組の方向性

札幌市オープンデータ推進方針に基づき、行政データのオープンデータ化を引き続き推進するとともに、地域・企業の需要が高いと思われるデータを可視化するなど、データの利用促進を図ります。

また、準公共と呼ばれる分野を中心に行政及び民間企業のデータ利活用の必要性が高まっていることを踏まえ、準公共分野におけるデータ連携について、新たな官民協働の体制と仕組みづくりの検討を進めます。

### 地域・産業のデジタル変革

利用者視点のスマートシティの推進

地域産業の付加価値向上

成長産業への投資促進

# (仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について

## 基本戦略

### ICT活用で踏まえる視点

視点② デジタル人材の確保・育成

行政／地域・産業

#### 視点

デジタル変革を推進するためには、デジタル人材の確保・育成が不可欠です。「札幌市人材マネジメント方針」では、**職員のデジタルスキルの向上**、「第2次札幌市産業振興ビジョン」では、**IT人材の確保・育成**に取り組むこととしています。

#### 取組の方向性

第2次ICT活用戦略では、札幌市の人事施策の体系等を整理した「札幌市人材マネジメント方針」や産業振興の方向性を示す「第2次札幌市産業振興ビジョン」、また、デジタル技術の進化等により、デジタル人材として求められるスキルや能力が変化しつつあることを踏まえ、**行政及び地域・産業分野のデジタル変革を牽引できる行政職員の類型と目標を定め**、地域の企業、大学、外部の専門機関と連携しながら**計画的にデジタル人材の育成・確保**に取り組みます。

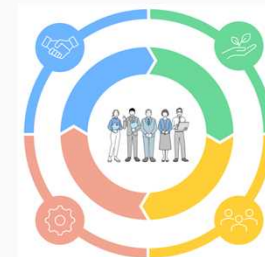
### 【札幌市人材マネジメント方針】

人材確保

人材育成

職場環境

マネジメント



札幌市職員が、現代の「読み・書き・そろばん」とも言われるデジタルリテラシーを身に着けるためのDX人材育成研修や、産学官連携によるデジタルリスキリング研修を実施します。

人事異動によるキャリア形成、デジタル部門のOJT等を通じ、ICT活用による行政の課題解決を牽引する行政職員である「行政DX推進リーダー」を100名（4年間）育成します。

人事異動によりキャリア形成、デジタル部門のOJT等を通じ、ICT活用による地域の課題解決を牽引する行政職員である「地域DX推進リーダー」を100名（4年間）育成します。

# (仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について

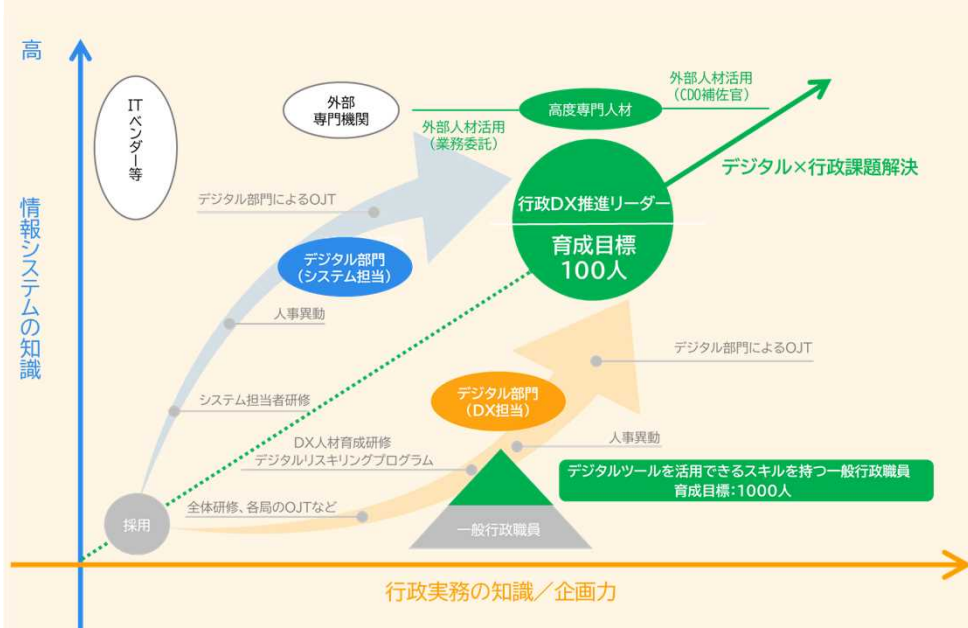
## 基本戦略

### ICT活用で踏まえる視点

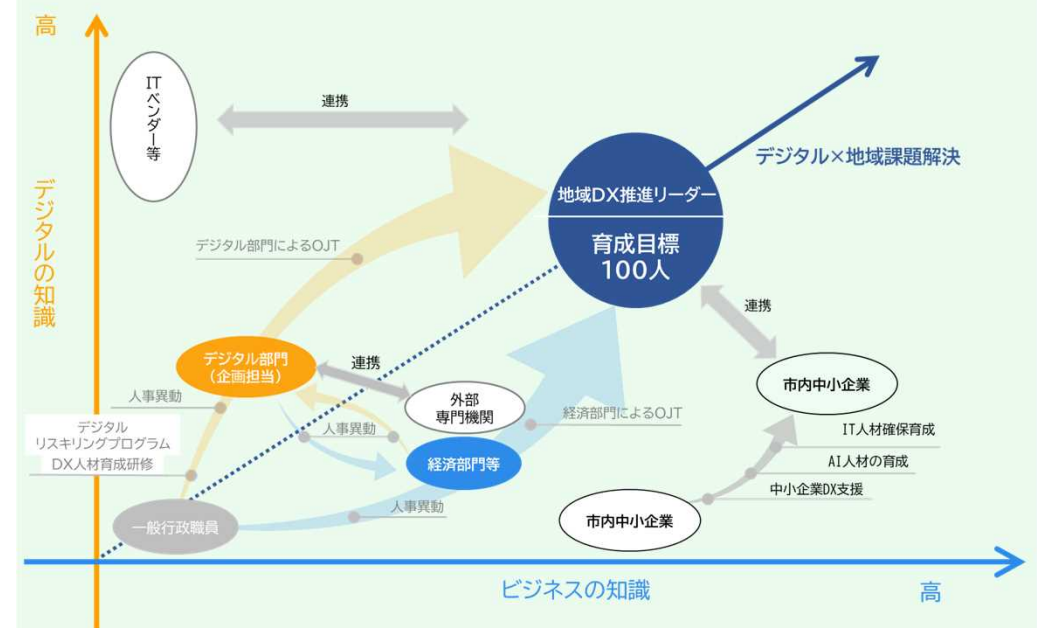
#### 視点② デジタル人材の確保・育成

行政

#### 行政の変革を牽引する行政職員の育成



#### 地域・産業の変革を牽引する行政職員の育成



# (仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について

## 基本戦略

### ICT活用で踏まえる視点

#### 視点③ 業務改革（BPR：Business Process Re-engineering）の推進

行政

#### 視点

行政のデジタル変革を進めるに当たっては、利用者（市民）の利便性向上と職員の生産性の向上（業務の効率化）を同時に実現できるよう業務改革に取り組むことが重要です。

#### 取組の方向性

業務改革の検討に当たっては、サービス設計12ヶ条に基づき、市民や事業者等の目線に立ち、利用者のニーズや利用状況、現場の業務を詳細に把握・分析したうえで、既存の制度・体制・手法に囚われることなく、あるべき業務プロセスを一から検討します。

#### 【サービス設計12ヶ条】

- |      |                   |
|------|-------------------|
| 第1条  | 利用者のニーズから出発する     |
| 第2条  | 事実を詳細に把握する        |
| 第3条  | エンドツーエンドで考える      |
| 第4条  | 全ての関係者に気を配る       |
| 第5条  | サービスはシンプルにする      |
| 第6条  | デジタル技術を徹底的に活用する   |
| 第7条  | 利用者の日常生活に溶け込む     |
| 第8条  | 自分で作りすぎない         |
| 第9条  | オープンにサービスを作る      |
| 第10条 | 何度も繰り返す           |
| 第11条 | 一遍にやらず、一貫してやる     |
| 第12条 | 情報システムではなくサービスを作る |



### ICT活用で踏まえる視点

#### 視点④ クラウド第一原則（クラウド・バイ・デフォルト原則）の推進

行政

#### 視点

技術進化により、クラウドサービスを活用して柔軟で迅速なサービス提供を行うことが基本となりつつあり、AIの活用、デジタルワークスタイルを推進するためにも、クラウドサービスの活用が欠かせないものとなっています。

#### 取組の方向性

行政のデジタルサービスの提供や情報システムの構築は、クラウドサービスの利用を第一候補とすることを原則としながら、システムの規模や刷新のスケジュール、整備・運用のコストなど、様々な比較を行った上で、最適なシステムとなるよう検討します。

クラウドサービスを使用する場合は、札幌市情報セキュリティポリシー等に基づき、適切なセキュリティ対策が取られているサービスを選定します。

#### 【クラウド利用のメリット】

##### 効率性の向上

- ・一利用者あたりの費用負担が低い
- ・導入時間を短縮できる

##### セキュリティ水準の向上

- ・強固な情報セキュリティ機能をもつ
- ・セキュリティの強化を効率的に行える

##### 技術革新への対応力の向上

- ・最新技術を用いたサービスが提供される

##### 柔軟性の向上

- ・リソースの追加・変更が容易である
- ・サービスの組み合わせで機能を実現する

##### 可用性の向上

- ・仮想化されたサーバの利用により、物理障害によるシステム障害を最小限にする

### ICT活用で踏まえる視点

#### 視点⑤ オンライン化の推進

行政

#### 視点

マイナンバーカードの普及が進んだことやライフスタイルの多様化が進んでいること、人口減少社会において持続的なサービスを提供していく必要があるという状況を踏まえ、**行政サービスのオンライン化を徹底**していくことが重要です。

#### 取組の方向性

行政サービスのオンライン化は、**原則全ての手続き等を対象**とし、処理件数が多い手続きや頻繁に利用する手続きなど、**住民の利便性の向上や業務の効率化を推進するうえで効果の高い手続きから着手**します。

加えて、オンライン化により混雑の緩和や生産性向上を実現し、これより**生み出した人的リソースを行政サービス全体の最適化や窓口におけるサービスの質の向上に振り向ける**など、「ひと」が中心となるデジタル化を進めます。

#### 【行政手続きオンライン化の3原則】

デジタル  
ファースト

原則として、  
個々の手続・サービスが  
一貫してデジタルで完結する

ワンス  
オンリー

一度提出した情報は、  
二度提出することを不要とする

コネクテッド  
ワンストップ

民間サービスを含め、  
複数の手続・サービスが  
どこからでも／一か所で実現する

10

# (仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について

## 基本戦略

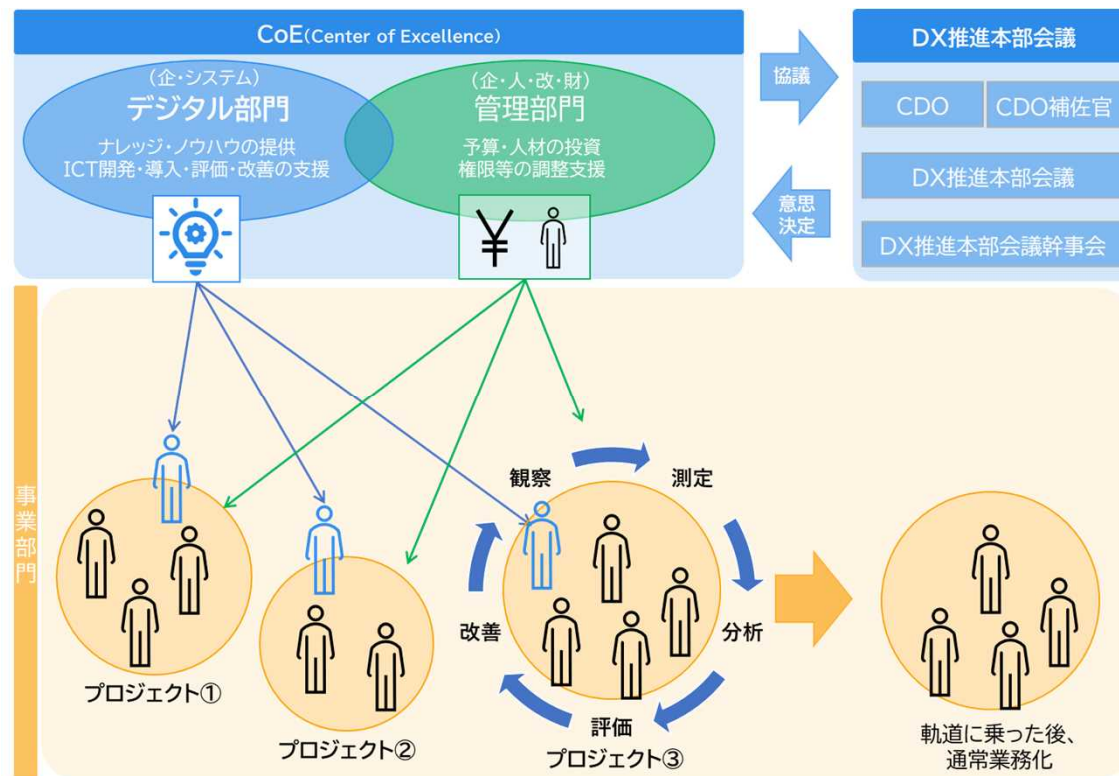
### 推進体制

基本原則や踏まえるべき視点に沿ったICT活用を進めていくためには、組織の壁を越え、全体最適なICT活用を進めるためのガバナンス体制の構築が必要です。

そのため、行政のデジタル変革においては、**「DX推進本部会議」**において、**戦略的にICT投資の意思決定**を行えるように、ICT投資の協議プロセスを構築するとともに、戦略の目的、目標を達成するために組織横断的な活動を行う場として**「デジタルCoE」**を効果的に活用し、**庁内横断的な変革を推進**します。

また、地域・産業のデジタル変革においては、行政と民間の協働により、**データ連携の仕様を決定し、データ連携基盤の整備・運営を官民連携により行う**新たな体制の構築を目指します。

### 【行政のデジタル変革の推進体制】

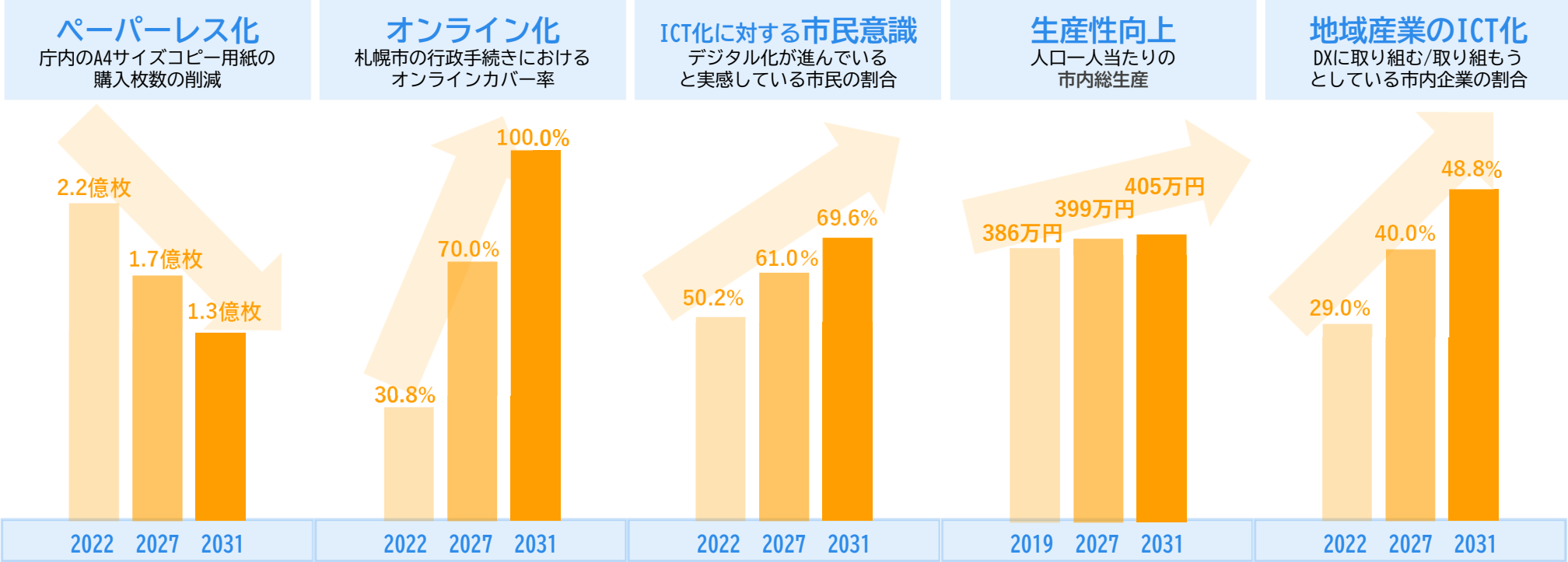


11

# (仮称)第2次札幌市ICT活用戦略について

## 基本戦略

### 数値目標



## ICT活用施策の体系

## 重点プロジェクト（案）

## 行政窓口の変革

手続のオンライン化、窓口の待ち時間短縮、  
窓口のサービスアップ など

## 行政DXを加速するデジタルワークの推進

内製化による迅速なデジタルサービスの提供、  
行政の効率化、オンラインサービスの増加 など

## 官民協働のデータ利活用の推進

交通、健康分野等における官民協働のデータ利活用  
と利便性の高いサービスの提供 など

## 行政のデジタル変革

## 市民視点のサービス提供

- 各種手続、支払、給付等のオンライン化の推進
- 窓口業務のDXの推進 など

## デジタルシフトの推進

- デジタル人材(行政分野)の確保・育成
- 電子入札、電子契約等の推進(クラウド移行) など

## 安全安心の向上

- 除排雪、道路整備の効率化(AI活用) ○デジタルディバイド対策
- 情報セキュリティの強化 など

## 地域・産業のデジタル変革

## 利用者視点のスマートシティの推進

- 新たな公共交通の整備 ○健康ポイント等の実施
- マイナンバーカードの活用推進 など

## 地域産業の付加価値向上

- 市内中小企業のDX支援 ○市内中小企業のAI活用の促進
- デジタル人材(産業分野)の確保・育成 など

## 成長産業への投資促進

- スタートアップの創出 ○スタートアップ企業の支援
- 半導体関連人材の育成 ○企業誘致の促進 など